競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は最新の WA 競技規則、2024 年度日本陸上競技連盟規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

(1) 第一次招集は、1 階雨天走路に設ける招集所にて行う。番組編成にある本人の組・レーンを確認し、ナンバーに〇をつけること。その際、選手本人がユニフォームを着用した状態で集まり、胸アスリートビブス・腰ナンバーカード競技使用予定シューズの確認を受けて招集完了とする。

(2) リレー競技の第一次招集は、出走者 4 名全員が受けること。その際、上記確認事項に加え同一ユニフォームであるかを確認する。

(3) TR24.11 に関わらず、リレーオーダー用紙は、第一次招集開始 10 分前までに 1 階正面エントランスに設ける TIC へ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。（「3.欠場について」参照）

(4) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医師、医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わない場合チームは失格となる。（TR24.11）

(5) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の第一次招集を受けられない競技者は、当該種目の第一次招集完了時刻までに重複出場届を 1 階正面エントランスに設ける TIC に提出すること。

(6) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第一次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。

(7) 重複出場届を提出した代理人は第二次招集に参加し、出発係にその旨を報告し本人が来るまで責任を持つこと。

(8) 招集は、招集所にて下記の通り行う。

	第一次招集		第二次招集
種目	招集開始時刻	招集完了時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
跳躍競技(棒高跳以外)	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前	競技開始 30 分前
投擲競技	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 80 分前	競技開始 60 分前

(9) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届は 1 階正面エントランスに設ける TIC にて配布する。

3. 欠場について

(1) 事前に欠場者が判明している場合は 3 月 9 日（日）正午までに事前欠場届を関西学連(icaak.rec@gmail.com)までメールにて提出すること。

(2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当日欠場届を当該種目の第一次招集開始時刻までに TIC に提出し承認を得ることで、欠場が認められる場合がある。なお、当日欠場届には監督および本人のサインを記入すること。

(3) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第一次招集開始 10 分前（リレーオーダー用紙提出〆切時刻）までに当日欠場届を提出すること。

4. 競技者の服装について

(1) 競技者は原則として所属する団体で同一のデザインのユニフォームを着用すること。これは、リレー競技に限らずすべての種目について適用する。異なる形状のユニフォーム（トップス・ショーツ・ハーフタイツなど）を使用する場合も、事前に学連に提出し、色・デザインを統一させること。

(2) 競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については、HP 掲載の別紙『競技会における広告および展示物に関する規程（国内）』を必ず確認すること。

(3)　アスリートビブスは加盟校については、学連が配布した 2024 年度のアスリートビブスを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせずに明瞭につけること。また、その他の競技者はエントリー時の番号を記載したアスリートビブスを使用すること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけで良い。

(4)　全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。ただし、1500ｍ以上からは両腰につけること。腰ナンバーカードは第一次招集時に招集所にて配付する。

(5)　本大会は TR5.2 ルールを適用し、規格外のシューズの使用は全て禁止とする。

5. 競技用器具について

(1)　使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし、個人所有のやり・砲丸・円盤・ハンマーの使用を希望する場合は、競技開始 90 分前から 60 分前に検査を受けて許可を受ければ、2 個まで使用することができる。検査は南側用器具倉庫(100m ゴール付近)で行う。ただし、検査時間が開門時刻以前となる場合には、1 階正面門にて検査を行う。

(2)　棒高跳用ポールは、各自で持ち込んだものを使用すること。

(3)　リレー及びフィールド競技のマークは、養生テープを使用すること。競技場保護のため、それ以外のテープは認めない。

7. トラック競技について

(1)　トラック競技の計時は写真判定（0.01 秒）とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時（0.1 秒）とする場合がある。

(2)　5000ｍ以上の競技においては気象状況により給水を行う場合がある。

(3)　救急搬送防止および選手の安全確保のため､審判長や競技役員が競技者の体調を見て､医師または医務員と協議のうえ　レースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。

8. フィールド競技について

(1)　走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ピット	試技開始	備考
走高跳	男子	A	1m80	2m00 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		B	1m60	
	女子	A	1m40	1m60 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
棒高跳	男子	A	3m40	4m60 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
	女子	A	2m40	3m60 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み

(2)　走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判長の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・関西学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。

(3)　競技者が各ピットで 1 人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。

(4)　三段跳の踏切板の位置は､男子は 1 組(A ピット)が 13m､2 組(B ピット)12m､女子は 1 組(A ピット)が 11m､2 組(B ピット)10m とする。

(5)　走幅跳及び三段跳の踏切判定には、粘土板を使用する。(ビデオカメラは使用しない)

(6)　棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。

(7)　投擲種目の公式練習は 2 投までとする。ただし、ハンマー投は 1 投とする。

(8)　現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。しかし審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・関西学連等で協議し対処する。（TR6.2）

9. 抗議の申し立てについて

(1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表されてから 30 分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で TIC を通じて審判長に申し出なくてはならない。(TR8.2.3)

(2) 抗議受付は、TIC に設ける。必要用紙に記入し、行うこと。

10. 悪天候時等の対応について

(1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、関西学連会長・ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を協議する。

(2) 中止となった種目のエントリー料の返金は行わない。

11. その他

(1) 記録の正式発表は電光掲示盤にて行う。

(2) 事前欠場者の人数により、番組編成を変更する場合がある。

(3) 記録証明書の発行を希望する競技者は、1 階正面エントランスに設ける受付へ発行手数料 300 円を添えて申しこむこと。

(4) 競技場内に立ち入る際は、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判員・学生補助員についても同様とする。

(5) 競技者は競技区域内にビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。(TR6.3.2) ただし、フィールド種目に出場している競技者は映像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしても良い。(TR6.4.5)

(6) 注意事項及び競技者としてのマナーを逸脱した行為が見受けられた場合は、その該当者の所属する団体の以後の競技を中止させ処罰を与える場合がある。

(7) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟